

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第7部門第3区分  
 【発行日】平成20年3月27日(2008.3.27)

【公開番号】特開2006-222642(P2006-222642A)  
 【公開日】平成18年8月24日(2006.8.24)  
 【年通号数】公開・登録公報2006-033  
 【出願番号】特願2005-33180(P2005-33180)  
 【国際特許分類】

H 0 4 N 1/04 (2006.01)

H 0 4 N 1/00 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 1/04 1 0 6 A

H 0 4 N 1/00 1 0 8 H

H 0 4 N 1/12 Z

【手続補正書】

【提出日】平成20年2月5日(2008.2.5)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

原稿を搬送する搬送手段と、原稿を検知する原稿検知手段と、原稿の画像を読取る画像読取手段と、を有する画像読取装置において、

前記原稿検知手段は、1つのレバー部材と、前記レバー部材を検知する複数のレバー検知手段と、を有し、前記搬送手段より原稿搬送方向上流側の第1の原稿検知位置と、前記搬送手段より原稿搬送方向下流側の第2の原稿検知位置と、において原稿を検知することを特徴とする画像読取装置。

【請求項2】

前記画像読取手段は、前記搬送手段より原稿搬送方向下流側に設けられ、

前記第2の原稿検知位置は、前記搬送手段と前記画像読取手段との間の位置であることを特徴とする請求項1に記載の画像読取装置。

【請求項3】

前記搬送手段は、原稿の斜行補正と搬送を行うレジストローラ対であることを特徴とする請求項1または2に記載の画像読取装置。

【請求項4】

前記レバー部材は、略C字状に形成され、該C字状の開口部によって、前記搬送手段の一方のローラの回転軸を、覆うように配置されることを特徴とする請求項3に記載の画像読取装置。

【請求項5】

前記原稿検知手段の前記複数のレバー検知手段は、原稿搬送方向と略直交する方向に並列に配設されていることを特徴とする請求項1乃至4のいずれかに記載の画像読取装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】変更

## 【補正の内容】

## 【0015】

前記目的を達成するための本発明に係る代表的な構成は、原稿を搬送する搬送手段と、原稿を検知する原稿検知手段と、原稿の画像を読取る画像読取手段と、を有する画像読取装置において、前記原稿検知手段は、1つのレバー部材と、前記レバー部材を検知する複数のレバー検知手段と、を有し、前記搬送手段より原稿搬送方向上流側の第1の原稿検知位置と、前記搬送手段より原稿搬送方向下流側の第2の原稿検知位置と、において原稿を検知することを特徴とする。